移住リエゾン

お仕事図鑑

にかほ市の移住体験が人気です！

この5月で私の移住リエゾンとしての活動も2年目に入りました。活動を支えていただいている皆さん、いつもありがとうございます。

最近、にかほ市を移住先として検討される方は増えてきていて、昨年度は29組60人の方が移住体験でにかほ市を訪れました。今年度はさらに受け入れを拡大するために「移住体験住宅下山」の運用を開始しました。この住宅は移住体験でいらした方に滞在してもらうための施設で、金浦に続いて2棟目になります。運用にあたってまずは地域住民の方々のご理解とご協力が必要不可欠ということで、5月には地域住民向けのお披露目見学会を開催し、住宅の内覧だけでなく移住政策の取り組みについても紹介させていただきました。

移住体験住宅下山見学会の様子

移住サポートに関してはただ単に受け入れを行うだけではなく、にかほ市に移住したことでその人の暮らしが豊かになり、新たな相乗効果が生まれたらいいなという思いで活動しています。ありがたいことに今年度もすでにたくさんの移住体験の利用予約をいただいていて、この中からそんな事例が生まれることを期待しています。

さて、この移住体験住宅下山は象潟地区の小滝集落にあります。自然・文化・観光・人が混じり合い、地方移住のイメージにぴったりな地域だと思っています。にかほ市へ足を運んでもらうきっかけの一つになればと思い、小滝集落を紹介する動画を作成しました。撮影にご協力いただいた皆さんありがとうございました。そして、お仕事図鑑を読んでいただいている皆さん、もし町で移住体験の方を見かけたら「ようこそにかほ市へ！」と声をかけてもらえると嬉しいです。もしかしたらそのひと言が移住を決める後押しになり、豊かなにかほ暮らしと相乗効果へと繋がるきっかけになるかもしれません。

小滝集落紹介動画のワンシーン

鈴木 憲人
Norihito Suzuki
勤務先：商工政策課
出身地：象潟

小滝集落紹介動画はこちら

空き家の利活用についてご相談ください

1つでもあてはまるようでしたら、一人で悩まずにまずは気軽にご相談ください

◎仏壇や家財道具があるし…倉庫として使っているが…片付けられない…
◎築年数もだいぶ経ってるし、手放すにもしても売れないと思う…
◎草刈りや屋根の修繕、県外に暮らしてるからどうなっているのか不安…

相談はコチラからも

例えば、こんな制度の利用方法もあります

空き家情報バンク（売却・賃貸） にかほ市内のお家を探している方に情報提供する制度です

空き家家財道具等処分費補助金 空き家バンク登録物件に係る家財道具等の処分に要する費用の２分の１を補助します（上限10万円）

にかほーむで検索

お家・空き家の相談カフェ
次回は8月21日(水曜）午後1時から午後4時まで
場所は金浦公民館　※出入り自由です

お待ちしてます!!

今年4月に設立された一般社団法人リエゾンでは、定期的に空き家やお家の相談座談会を開いています。
お気軽にお立ち寄りください。必要な場合は専門家にお繋ぎします。

お問い合わせ先　にかほ市 商工政策課・移住リエゾン
TEL:0184-43-7600　MAIL:shoukou@nikaho.city.lg.jp

市長コラム

創造を想像する

新たな観光の扉

いよいよオープン

6月28日、アウトドア拠点施設「NIKAHO OUTDOOR BASE（ニカホアウトドアベース）」がオープンしました。当初のオープン予定は3月末でしたが、物価高騰や資材不足などのために3カ月ほど遅れての完成となりました。なんとか夏山シーズンに間に合い、ホッとしているところです。

この施設にはビジターセンターとアウトドア用品販売の大きく2つの機能があります。アウトドア用品販売については、テナントとして東北最大級の売り場面積を持つモンベルストアが「モンベルにかほ店」として入居します。オープン初日より市内外から多くのお客さんに訪れていただいています。

いろいろな所で多くの方々から新しいアウトドア拠点施設の目的について聞かれます。これに対しては簡単に、「ビジターセンターはアウトドア観光を展開していくための拠点となる施設です。そして、この目的を実現するためにモンベルの豊富な知見とノウハウを活用していこうとするものです」といった説明をしています。

「ビジターセンター」の役割

ビジターセンターが取組む具体的な内容のうち、わかりやすいものをいくつか紹介します。

まずはセミナーの開催です。アウトドア初心者から上級者のそれぞれに合わせた約1時間のセミナーが年間スケジュールにて実施されていくことになります。たとえば他地域で実施されている登山セミナーでは、「地図の読み方」や「コンパスの使い方」などから「雪山登山のはじめ方」や「親子登山のはじめ方」など、さらには「山でのトラブル対処法」や「テント泊登山の魅力」についてのセミナーが、半年間に10～20回くらいのペースで開催されています。また、「スポーツバイクのはじめ方」「カヌー・カヤックのはじめ方」などといった新たなアウトドアを楽しむためのセミナーも開催されています。

特徴あるほかの取組みとしては、新たなアウトドアツアーの開催があげられます。モンベルには約115万人の有料会員がおり、彼らに向けてさまざまなイベントが提供されています。たとえば「バスで行く東北の名峰　日本百名山　鳥海山登山2days」などは即完売とのことでした。にかほ市でも今後このようなアウトドアツアーが商品として開発されていくことになります。

そのほかにもビジターセンターではE-bikeのレンタル、カヤック体験、ピナクル（高さ8mの円筒状の人工岩山）でのクライミング体験などができます。

旅の目的地

多くの市民のみなさんが「にかほ市は鳥海山と日本海があって自然豊かなとこもよいところだ」と言います。市外の方々も同様に「にかほ市は地域資源が豊かな素晴らしいところですね」とよく言ってくれます。なかには「にかほ市はほかに比べて明るいですね」と言ってくれる方々もいます。ちなみに、このときの明るいとは光がまぶしいという意味です。これに対して、あくまでも私見ですがと断りを入れながら、「にかほ市が明るいのは日本海と鳥海山の両方に太陽光が反射しているからだと思います。光の量の多さを感じさせてくれるのも海と山に囲まれた豊かな自然のおかげです」と私は答えています。

にかほ市には、道の駅象潟ねむの丘だけを見ても年間100万人を超える観光客が訪れています。おくのほそ道「象潟」、フェライト子ども科学館や白瀬南極探検隊記念館などのミュージアム、仁賀保高原、鉾立、冬師や獅子ケ鼻といった湿原、元滝伏流水や奈曽の白滝、日本海など、市内各所に訪れる人々を合わせれば観光客はもっと大きな数になります。

今回のアウトドア拠点施設の整備は、すでに「旅の目的地」として確立しているにかほ市に、新たな観光の扉を開け、交流人口、関係人口の幅をさらに拡大させていこうとするものです。

にかほ市長
市川雄次

市政運営から日常の出来事まであらゆるテーマをコラムにしています。過去のコラムは市HPからご覧になれます。